

ダイワ・ロシア株ファンド

運用報告書(全体版) 第25期

(決算日 2020年 8 月20日)

(作成対象期間 2020年 2 月21日～2020年 8 月20日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ロシアの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	ダイワ・ロシア株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・ロシア株マザーファンド	ロシアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにロシアの企業のDR（預託証券）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

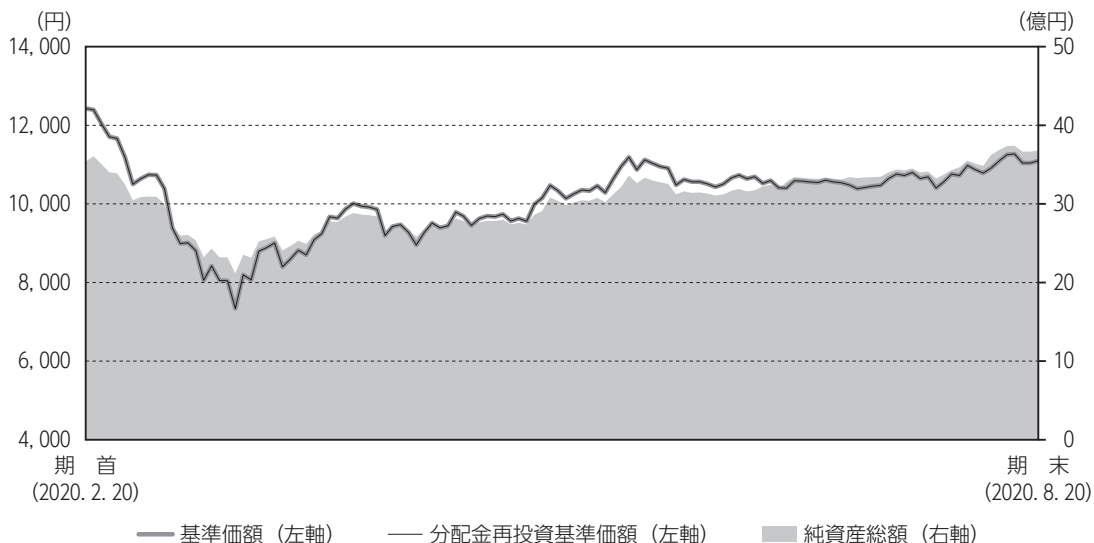
決 算 期	基 準 価 額			MSCIロシア10/40指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
21期末(2018年 8 月20日)	9,400	0	△ 6.8	7,764	△ 8.1	87.5	—	4,206
22期末(2019年 2 月20日)	10,197	100	9.5	8,736	12.5	91.0	—	3,660
23期末(2019年 8 月20日)	10,355	50	2.0	9,047	3.6	92.7	—	3,054
24期末(2020年 2 月20日)	12,427	600	25.8	11,692	29.2	92.5	—	3,538
25期末(2020年 8 月20日)	11,097	0	△ 10.7	10,397	△ 11.1	86.9	—	3,678

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) MSCIロシア10/40指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIロシア10/40指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIロシア10/40指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：12,427円

期 末：11,097円（分配金 0 円）

騰落率：△10.7%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じてロシアの株式に投資した結果、ロシア株式市場が下落したこと、およびロシア・ルーブルが対円で下落（円高）したことを受けて、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ロシア株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCIロシア10/40指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2020年 2 月20日	円 12,427	% —	11,692	% —	% 92.5	% —
2 月末	11,189	△ 10.0	10,408	△ 11.0	85.5	—
3 月末	8,595	△ 30.8	7,561	△ 35.3	90.0	—
4 月末	9,788	△ 21.2	8,867	△ 24.2	91.7	—
5 月末	10,459	△ 15.8	9,676	△ 17.2	93.3	—
6 月末	10,595	△ 14.7	9,636	△ 17.6	91.4	—
7 月末	10,404	△ 16.3	9,650	△ 17.5	88.3	—
(期末) 2020年 8 月20日	11,097	△ 10.7	10,397	△ 11.1	86.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 2. 21 ~ 2020. 8. 20)

■ロシア株式市況（現地通貨建て）ロシア株式市場は下落しました。

当作成期首より、新型コロナウイルスの感染が中国から世界に拡大し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、ロシア株式市場は大きく下落して始まりました。しかしその後は、世界各国で大規模な財政刺激策や金融緩和策が矢継ぎ早に実施されたことで投資家心理が改善し、2020年3月末にかけて反発しました。4月から5月にかけては、段階的な経済活動の再開や経済統計の改善が世界的に見られたことから、底堅い推移が継続しました。6月以降は、新型コロナウイルスの感染第2波への懸念が徐々に高まったことなどから軟調に推移する場面も見られましたが、ワクチン開発の進展期待やロシア中央銀行による追加利下げなどが下支えとなり、上昇基調が継続しました。

■為替相場ロシア・ルーブルは対円で下落しました。

当作成期首より、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、ロシア・ルーブルは対円で大きく下落して始まりました。しかしその後は、世界各国で大規模な財政刺激策や金融緩和策が実施されたことを背景に投資家のリスク回避姿勢が後退し、2020年3月末にかけて、ルーブルは対円で下げ止まりました。4月から5月にかけては、段階的な経済活動の再開や経済統計の改善が世界的に見られたことから、ルーブルは対円で上昇（円安）しました。6月以降は、新型コロナウイルスの感染第2波への懸念が徐々に高まったことや、OPECプラス（石油輸出国機構加盟国とロシアなど非加盟国）が協調減産の規模縮小を決定したことなどが重しとなり、当作成期末にかけて、ルーブルは対円で再び軟調な推移となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・ロシア株マザーファンド

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。配当政策の改善やキャッシュフローの有効活用が見込まれるエネルギー関連銘柄などに注目しています。株式組入比率については、原油価格、世界経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行います。

ポートフォリオについて

(2020. 2. 21 ~ 2020. 8. 20)

■当ファンド

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資しました。

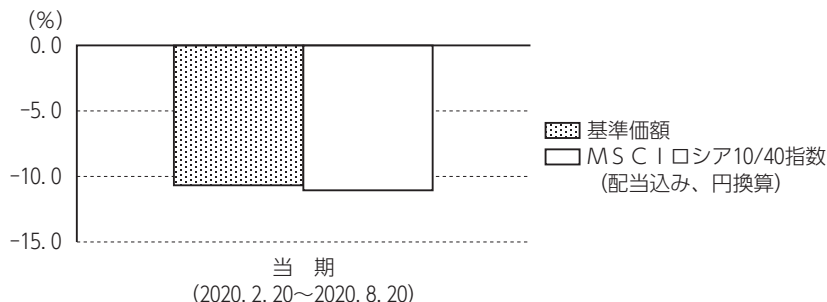
■ダイワ・ロシア株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託しております。引き続き、内需関連企業と外需関連企業のバランスを取りながらポートフォリオを構築しました。株式組入比率は、市場環境などに応じて機動的に変更しましたが、85%程度以上を維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年 2月21日 ～2020年 8月20日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	4,185

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・ロシア株マザーファンド

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。配当政策の改善や割安な株価水準、キャッシュフローの有効活用などが見込まれるエネルギー関連銘柄や金融関連銘柄などに注目しています。株式組入比率については、原油価格、世界的な政治・経済、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行います。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 2. 21～2020. 8. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	93円	0. 919%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 125円です。
(投 信 会 社)	(44)	(0. 438)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(44)	(0. 438)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0. 044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	10	0. 096	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(10)	(0. 096)	
有価証券取引税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	14	0. 138	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(11)	(0. 105)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0. 030)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	117	1. 152	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

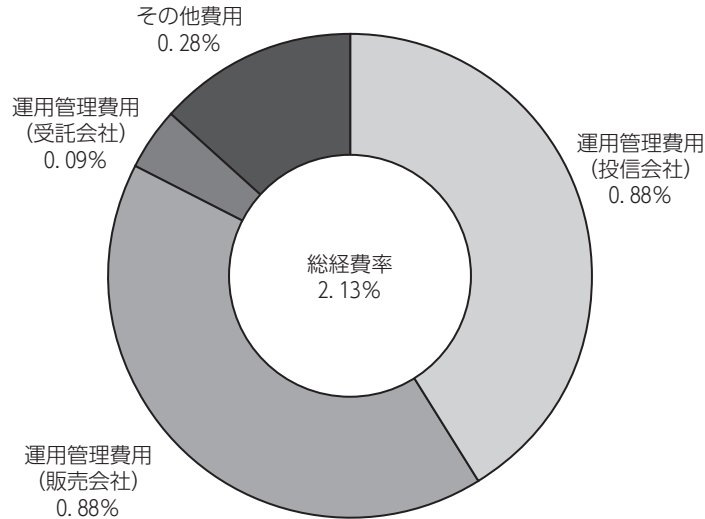
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年2月21日から2020年8月20日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ロシア株マザーファンド	352,144	498,000	34,088	49,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2020年2月21日から2020年8月20日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・ロシア株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,714,090千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,723,684千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.36

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・ロシア株マザーファンド	2,153,343	2,471,398	3,632,215

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年8月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ロシア株マザーファンド	3,632,215	97.8
コール・ローン等、その他	82,921	2.2
投資信託財産総額	3,715,137	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝106.09円、1イギリス・ポンド＝139.05円です。

(注3) ダイワ・ロシア株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,629,883千円)の投資信託財産総額(3,632,274千円)に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年8月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,715,137,010円
コール・ローン等	82,921,949
ダイワ・ロシア株マザーファンド (評価額)	3,632,215,061
(B) 負債	36,597,426
未払解約金	8,609,094
未払信託報酬	27,905,371
その他未払費用	82,961
(C) 純資産総額 (A - B)	3,678,539,584
元本	3,314,882,335
次期繰越損益金	363,657,249
(D) 受益権総口数	3,314,882,335口
1万口当り基準価額 (C / D)	11,097円

* 期首における元本額は2,847,402,606円、当作成期間中における追加設定元本額は790,045,281円、同解約元本額は322,565,552円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,097円です。

■損益の状況

当期 自 2020年 2月21日 至 2020年 8月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 13,368円
受取利息	917
支払利息	△ 14,285
(B) 有価証券売買損益	△ 270,597,473
売買益	69,726,879
売買損	△ 340,324,352
(C) 信託報酬等	△ 27,988,677
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 298,599,518
(E) 前期繰越損益金	719,899,649
(F) 追加信託差損益金	△ 57,642,882
(配当等相当額)	(611,584,105)
(売買損益相当額)	(△ 669,226,987)
(G) 合計 (D + E + F)	363,657,249
次期繰越損益金 (G)	363,657,249
追加信託差損益金	△ 57,642,882
(配当等相当額)	(611,584,105)
(売買損益相当額)	(△ 669,226,987)
分配準備積立金	775,925,618
繰越損益金	△ 354,625,487

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：5,942,650円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	56,025,969円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	611,584,105
(d) 分配準備積立金	719,899,649
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,387,509,723
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,387,509,723
(h) 受益権総口数	3,314,882,335口

ダイワ・ロシア株マザーファンド

運用報告書 第25期（決算日 2020年 8 月20日）

（作成対象期間 2020年 2 月21日～2020年 8 月20日）

ダイワ・ロシア株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

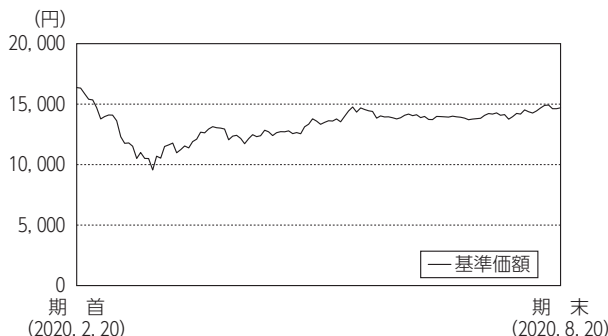
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ロシアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）ならびにロシアの企業のＤＲ（預託証券）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		MSCIロシア10/40指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰落率 %	騰落率 %	騰落率 %	%	%
(期首) 2020年 2月20日	16,369	—	11,692	—	92.9	—
2月末	14,705	△ 10.2	10,408	△ 11.0	87.7	—
3月末	11,239	△ 31.3	7,561	△ 35.3	91.6	—
4月末	12,848	△ 21.5	8,867	△ 24.2	93.2	—
5月末	13,772	△ 15.9	9,676	△ 17.2	95.9	—
6月末	13,988	△ 14.5	9,636	△ 17.6	93.2	—
7月末	13,752	△ 16.0	9,650	△ 17.5	89.4	—
(期末) 2020年 8月20日	14,697	△ 10.2	10,397	△ 11.1	88.0	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIロシア10/40指数 (配当込み、円換算) は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIロシア10/40指数 (配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIロシア10/40指数 (配当込み、米ドルベース) は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：16,369円 期末：14,697円 騰落率：△10.2%

【基準価額の主な変動要因】

ロシア株式市場が下落したこと、およびロシア・ルーブルが対円で下落 (円高) したことを受けて、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○ロシア株式市況 (現地通貨建て)

ロシア株式市場は下落しました。

当作成期首より、新型コロナウイルスの感染が中国から世界に拡大し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、ロシア株式市場は大きく下落して始まりました。しかしその後は、世界各国で大規模な財政刺激策や金融緩和策が矢継ぎ早に実施されたことで投資家心理が改善し、2020年3月末にかけて反発しました。4月から5月にかけては、段階的な経済活動の再開や経済統計の改善が世界的に見られたことから、底堅い推移が継続しました。6月以降は、新型コロナウイルスの感染第2波への懸念が徐々に高まったことなどから軟調に推移する場面も見られましたが、ワクチン開発の進展期待やロシア中央銀行による追加利下げなどが下支えとなり、上昇基調が継続しました。

○為替相場

ロシア・ルーブルは対円で下落しました。

当作成期首より、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、ロシア・ルーブルは対円で大きく下落して始まりました。しかしその後は、世界各国で大規模な財政刺激策や金融緩和策が実施されたことを背景に投資家のリスク回避姿勢が後退し、2020年3月末にかけて、ルーブルは対円で下げ止まりました。4月から5月にかけては、段階的な経済活動の再開や経済統計の改善が世界的に見られたことから、ルーブルは対円で上昇 (円安) しました。6月以降は、新型コロナウイルスの感染第2波への懸念が徐々に高まったことや、OPECプラス (石油輸出国機構加盟国とロシアなど非加盟国) が協調減産の規模縮小を決定したことなどが重しとなり、当作成期末にかけて、ルーブルは対円で再び軟調な推移となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。配当政策の改善やキャッシュフローの有効活用が見込まれるエネルギー関連銘柄などに注目しています。株式組入比率については、原油価格、世界経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行います。

◆ポートフォリオについて

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託しております。引き続き、内需関連企業と外需関連企業のバランスを取りながらポートフォリオを構築しました。株式組入比率は、市場環境などに応じて機動的に変更しましたが、85%程度以上を維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。配当政策の改善や割安な株価水準、キャッシュフローの有効活用などが見込まれるエネルギー関連銘柄や金融関連銘柄などに注目しています。株式組入比率については、原油価格、世界的な政治・経済、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行います。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	13円 (13)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	18 (14) (4)
合 計	31

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況
株 式

(2020 年 2 月 21 日から 2020 年 8 月 20 日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ロシア	百株 1, 235, 189. 96 (—)	千アメリカ・ドル 18, 136 (—)	百株 2, 605, 711. 08	千アメリカ・ドル 15, 748
		百株 300 (—)	千イギリス・ポンド 579 (—)	百株 —	千イギリス・ポンド —

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
株 式

(2020 年 2 月 21 日から 2020 年 8 月 20 日まで)

当 期				期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
ROSNEFT OIL CO PJSC (ロシア)	千株 548. 245	千円 271, 908	円 495	ROSNEFT OIL CO PJSC (ロシア)	千株 520	千円 276, 433	円 531
SBERBANK OF RUSSIA PJSC (ロシア)	521. 712	151, 504	290	POLYUS PJSC (ロシア)	13. 5	203, 292	15, 058
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S (ロシア)	10. 783	146, 182	13, 556	VTB BANK JSC -GDR-REG S (ロシア)	1, 050	124, 154	118
MMC NORILSK NICKEL PJSC (ロシア)	5. 492	137, 055	24, 955	AEROFLOT PJSC (ロシア)	1, 027. 483	122, 919	119
AEROFLOT PJSC (ロシア)	1, 027. 483	121, 881	118	TATNEFT PJSC (ロシア)	163. 425	121, 752	745
VTB BANK JSC -GDR-REG S (ロシア)	1, 167. 864	118, 811	101	INTER RAO UES PJSC (ロシア)	16, 000	117, 058	7
X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR (オランダ)	33. 338	103, 691	3, 110	NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S (ロシア)	6. 7	104, 187	15, 550
TATNEFT PJSC (ロシア)	103. 435	84, 886	820	GAZPROM PJSC (ロシア)	325	86, 712	266
MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR (ロシア)	90	84, 204	935	ALROSA PJSC (ロシア)	900	80, 823	89
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS PJ (ロシア)	467. 039	84, 030	179	RUSHYDRO PJSC (ロシア)	85, 000	75, 595	0. 889

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ・ロシア株マザーファンド

■組入資産明細表 外国株式

銘柄		期首	当	期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(ロシア)						
MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR		1,650	2,550	2,409	255,650	コミュニケーション・サービス
VTB BANK JSC -GDR-REG S		5,500	6,678.64	655	69,578	金融
MAGNIT PJSC-SPON GDR REGS		1,350	1,387.1	2,144	227,505	生活必需品
X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR		200	433.38	1,671	177,288	生活必需品
MAIL. RU GROUP-GDR REGS		—	250	740	78,506	コミュニケーション・サービス
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S		65	105.83	1,664	176,608	エネルギー
LUKOIL PJSC-SPON ADR		—	25	179	19,064	エネルギー
GAZPROM PJSC-SPON ADR		—	1,200	617	65,512	エネルギー
DETSKY MIR PJSC		1,000	2,700	444	47,105	一般消費財・サービス
TATNEFT PJSC - PREF		850	1,798.09	1,404	148,951	エネルギー
ENEL RUSSIA PJSC		100,000	—	—	—	公益事業
ROSSETI PJSC		100,000	50,000	108	11,534	公益事業
INTER RAO UES PJSC		175,000	40,000	303	32,213	公益事業
SURGUTNEFTEGAS-PREFERENCE		9,500	11,816.06	606	64,309	エネルギー
ALROSA PJSC		3,000	—	—	—	素材
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS PJ		8,500	9,370.39	1,848	196,115	金融
SBERBANK OF RUSSIA PJSC		4,700	8,817.12	2,884	306,068	金融
TRANSNEFT PJSC		2.3	2.36	469	49,772	エネルギー
SEVERSTAL PJSC		450	250	330	35,017	素材
POLYUS PJSC		205	101.92	2,456	260,587	素材
TATNEFT PJSC		1,600	1,000.1	807	85,689	エネルギー
SURGUTNEFTEGAS PJSC		4,500	10,788.57	561	59,562	エネルギー
MMC NORILSK NICKEL PJSC		50	94.92	2,659	282,149	素材
GAZPROM PJSC		7,250	5,192.38	1,343	142,492	エネルギー
ROSNEFT OIL CO PJSC		1,300	1,582.45	840	89,143	エネルギー
LUKOIL PJSC		250	256.87	1,841	195,411	エネルギー
RUSHYDRO PJSC		850,000	—	—	—	公益事業
FEDERAL GRID CO UNIFIED ENER		1,500,000	1,250,000	345	36,640	公益事業
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	2,776,922.3	1,406,401.18	29,338	3,112,481	
	銘柄数＜比率＞	25銘柄	25銘柄		<85.7%>	
(ロシア)						
POLYMETAL INTERNATIONAL PLC		—	300	596	82,971	素材
イギリス・ポンド通貨計	株数、金額	—	300	596	82,971	
	銘柄数＜比率＞	—	1銘柄		<2.3%>	
ファンド合計	株数、金額	2,776,922.3	1,406,701.18	—	3,195,452	
	銘柄数＜比率＞	25銘柄	26銘柄		<88.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年8月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	3,195,452	88.0
コール・ローン等、その他	436,821	12.0
投資信託財産総額	3,632,274	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝106.09円、1イギリス・ポンド＝139.05円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,629,883千円)の投資信託財産総額(3,632,274千円)に対する比率は、99.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年8月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,632,274,136円
コール・ローン等	432,353,151
株式(評価額)	3,195,452,206
未収配当金	4,468,779
(B) 負債	—
(C) 純資産総額 (A－B)	3,632,274,136
元本	2,471,398,967
次期繰越損益金	1,160,875,169
(D) 受益権総口数	2,471,398,967口
1万口当り基準価額 (C／D)	14,697円

* 期首における元本額は2,153,343,356円、当作成期間中における追加設定元本額は352,144,356円、同解約元本額は34,088,745円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ロシア株ファンド2,471,398,967円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,697円です。

■損益の状況

当期 自 2020年2月21日 至 2020年8月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	84,202,672円
受取配当金	84,196,728
受取利息	14,023
支払利息	△ 8,079
(B) 有価証券売買損益	△ 421,704,427
売買益	284,215,240
売買損	△ 705,919,667
(C) その他費用	△ 4,067,136
(D) 当期損益金 (A＋B＋C)	△ 341,568,891
(E) 前期繰越損益金	1,371,499,671
(F) 解約差損益金	△ 14,911,255
(G) 追加信託差損益金	145,855,644
(H) 合計 (D＋E＋F＋G)	1,160,875,169
次期繰越損益金 (H)	1,160,875,169

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。